

エコアクション21

環境経営レポート

実施期間 2024年6月1日～2025年5月31日

中村工業株式会社

愛知県知立市弘法一丁目8番地2

発行日:2025年10月29日

< 目 次 >

1、方針	P. 1
2、事業の概要、対象範囲	P. 2
3、環境管理実施体制(組織図)	P. 3
4、環境経営システム 役割・責任・権限	P. 4
5、環境経営目標〈2023年度～2025年度〉	P. 5
6、環境経営目標の実績	P. 6
7、環境経営計画の実績	P. 7
8、環境経営計画と取組結果とその評価、今後の取組内容	P. 8
9、主な環境関連法規性遵守状況と評価・違反、訴訟等の有無	P. 9
10、代表者による全体評価と見直し	P.10
11、環境経営計画	P.11

1、方針

〈 基本理念 〉

中村工業株式会社は、塗装専門メーカーとしての事業活動に於いて、自社の企業活動を通じ、要求品質に応える製品を製造・提供すると共に、環境への配慮を考慮し、品質・環境経営システムを構築し、運用し、維持することにより、顧客満足の上昇、並びに環境保全活動に取り組みます。

品質方針

品質方針を全従業員に周知徹底すると共に、従業員一人一人が、要求事項がいかに重要であるかを認識し、次の事項を積極的に取り組みます。

- 1、顧客の要求事項に適した品質を提供し、顧客満足の上昇を目指します。
- 2、品質至上を第一に、安定した品質を維持すると共に、さらなる品質の上昇を目指します。
- 3、品質に関する法規制及び、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 4、技術・技能・経験を当社の知的財産ととらえ、技術の上昇、技能の伝承を含む教育に取り組みます。
- 5、従業員が安全に取り組むことの出来る環境を整えます。
- 6、更なる上昇を目指し、積極的に改善に取り組みます。

環境経営方針

環境経営方針を全従業員に周知徹底すると共に、従業員一人一人が、環境保全がいかに重要であるかを認識し、次の事項を積極的に取り組みます。

- 1、環境汚染を防ぐため、排出される物質の管理を徹底します。
- 2、限りある資源の有効活用に努め、消費低減に取り組みます。
- 3、環境に関する法規制及び、当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
- 4、次の事項について、日々積極的に取り組みます。
 - ① 省エネルギー化を推進し、Co2排出量を削減します
 - ② ゴミの分別を徹底し、廃棄物排出を削減します
 - ③ 産業廃棄物を削減します
 - ④ 化学物質の保管量を把握し、適正に管理します
 - ⑤ 環境に配慮した商品を購入します
 - ⑥ 節水に努めます
 - ⑦ 5S(整理・整頓・清潔・清掃・躰)活動を徹底します
- 5、更なる上昇を目指し、積極的に改善に取り組みます。

2024年8月1日

中村工業株式会社

代表取締役社長 加藤 保

2、事業の概要、対象範囲

1.事業者名

中村工業株式会社
代表取締役社長：加藤 保

本社・工場
所在地：愛知県知立市弘法一丁目8番地2
TEL：0566-83-0283
FAX：0566-83-0285

小垣江工場
所在地：愛知県刈谷市小垣江町御茶屋下17-11
TEL：0566-95-2121
FAX：0566-25-1209

2.事業概要

創立日：昭和25年1月
資本金：2000万円
事業年度：6月～翌年5月

3.事業内容

自動車部品（プロポーショニングバルブ、クラッチレリーズシリンダー、ハブアッシー、ナックルアーム等）の塗装、及び表面処理

4.環境管理責任者氏名

責任者：代表取締役 加藤 保

5.事業規模

活動規模	単位	2022年度	2023年度	2024年度
①売上高	円	189,500,000	221,400,000	247,700,000
②従業員数 ※1	名	22	22	25
③延床面積 ※2	m ²	2,407	2,407	2,407

※1 各年度6月1日現在の人員数

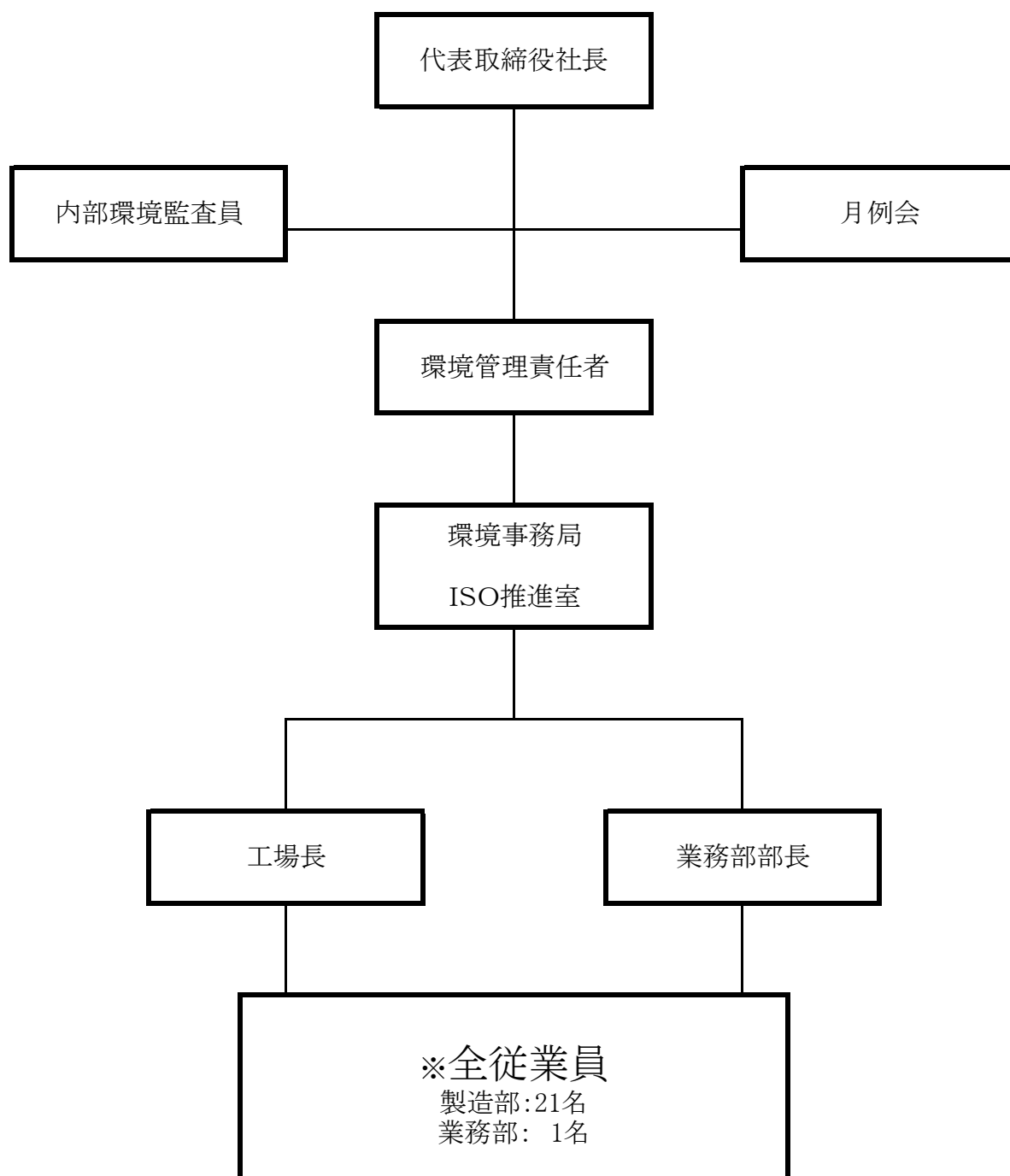
※2 合計延床面積、または会社敷地面積など

6.対象範囲

中村工業株式会社の全組織・全活動

3、環境管理実施体制（組織図）

2024年6月1日現在



4、環境経営システム 役割・責任・権限

(1) 代表取締役社長

- ① 環境経営に関する統括責任
- ② 環境経営システムの実施に必要な、人員・設備・費用・時間・技能技術者の確保
- ③ 環境管理責任者の任命
- ④ 環境経営方針の策定・見直し及び、全従業員への周知
- ⑤ 環境経営目標、環境経営計画書の承認
- ⑥ 環境マネジメントレビューの実施
- ⑦ 環境経営レポートの承認

(2) 環境管理責任者

- ① 環境経営システムの構築、実施、管理
- ② 環境関連法規制等の取りまとめ表の承認
- ③ 環境経営目標、環境経営計画書の確認
- ④ 環境活動の取組結果の代表者への報告
- ⑤ 環境経営レポートの確認
- ⑥ 手順書等の承認

(3) 内部環境監査員

- ① 内部監査の実施
- ② 改善が必要な事項に対する是正指導、及び改善実施の確認
- ③ 監査結果、及び是正処置等の代表者への報告

(4) 環境事務局(ISO推進室)

- ① 環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局
- ② 環境負荷、及び環境活動取組の自己チェックの実施
- ③ 環境関連法規制等の取りまとめ表の作成
- ④ 環境関連法規制等の取りまとめ表に基づく遵守評価の実施
- ⑤ 環境経営方針、環境経営計画書原案の作成
- ⑥ 環境活動の実績集計
- ⑦ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口
- ⑧ 環境経営レポートの作成、公開(事務所保管、地域事務所への送付)

(5) 各部門長

- ① 自部門における環境経営システムの実施
- ② 自部門における環境経営方針の周知徹底
- ③ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施
- ④ 自部門に関連する環境経営計画書の実施、及び達成状況の報告
- ⑤ 特定された項目の手順書の作成、及び運用管理
- ⑥ 自部門の特定された緊急事態への対応の為の手順書の作成
- ⑦ 緊急事態への対応に対する訓練・テストの実施、及び記録の保管
- ⑧ 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施

(6) 全従業員

- ① 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性の自覚
- ② 約束事の遵守徹底
- ③ 自主的、かつ積極的な環境活動への参加

5、環境経営目標〈2023年度～2025年度〉

環境方針項目	環境目標	単位	年間削減目標(6月～翌年5月)			
			2021年度 基準年度	2023年度 2%	2024年度 3%	2025年度 3%
CO2排出量の削減	CO2排出量削減	kg-CO2	306,823	300,687	297,618	296,391
	電気使用量の削減	kWh	329,429	322,840	319,546	318,228
	灯油使用量の削減	ℓ	798	782	774	771
	ガソリン使用量の削減	ℓ	477	467	463	461
	軽油使用量の削減	ℓ	6,541	6,410	6,345	6,319
	ガス使用量の削減	kg	48,290	47,324	46,841	46,648
	売上比率の増大	¥/kg-CO2	575	587	592	598
廃棄物排出量の削減	産業廃棄物の削減	kg	42,600	41,748	41,322	41,151
	一般廃棄物の削減	kg	2,280	2,234	2,212	2,202
化学物質使用の適正管理	塗料使用量の削減	kg	20,948	20,529	20,320	20,236
グリーン商品購入推進	グリーン商品購入拡大	品目数	8	8	8	8
排水量の削減	水道使用量の削減	m ³	2,293	2,247	2,242	2,215
5S活動の推進		-	5S意識向上・徹底	5S意識向上・徹底	5S意識向上・徹底	5S意識向上・徹底

※購入電力の排出係数については、2021年度の電気事業者別排出係数=0.431kg-CO2/kWhで算出しています

6、2024年度 環境経営目標の実績

環境方針項目	環境目標	単位	基準年度 2021年 6月～5月	2024年6月～2025年5月				
				増減目標	目標値	実績値	増減率	結果
CO2排出量の削減	CO2排出量削減	kg-CO2	306,823	-3%	297,618	314,634	+5.4%	×
	電気使用量の削減	kWh	329,429	-3%	319,546	339,665	+5.9%	×
	灯油使用量の削減	ℓ	798	-3%	774	403	-47.9%	○
	ガソリン使用量の削減	ℓ	477	-3%	463	817	+43.3	×
	軽油使用量の削減	ℓ	6,541	-3%	6,345	5,528	-12.9%	○
	ガス使用量の削減	kg	48,290	-3%	46,841	50,359	+6.9%	×
	売上比率の増大	¥/kg-CO2	575	3%	592	787	+24.8%	○
廃棄物排出量の削減	産業廃棄物の削減	kg	42,600	-3%	41,322	52,590	+21.4%	×
	一般廃棄物の削減	kg	2,280	-3%	2,212	3,400	+34.9%	×
化学物質使用の適正管理	塗料使用量の削減	kg	20,948	-3%	20,320	20,048	+1.3%	×
グリーン商品購入推進	グリーン商品購入拡大	品目数	8	-	8	8	-	-
排水量の削減	水道使用量の削減	m ³	2,293	-3%	2,242	2,657	+15.6%	×
5S活動の推進	-	-	5S意識向上・徹底	-	清掃整理の徹底	清掃整理の徹底	-	○

※購入電力の排出係数については、2021年度の電気事業者別排出係数=0.431kg-CO2/kWhで算出しています

7、2024年度 環境経営計画の実績

環境経営方針項目	環境経営目標	取組項目	具体的な手段	計画	文書・記録	責任者	実績
CO2排出量の削減	電気使用量の削減	冷房の適温化	・定期的にフィルターの清掃 ・空調不使用時OFFの徹底	7・9月	点検表	横山	○
		照明電力の削減	・不要蛍光灯のOFF ・作業終了後すぐに電源停止の周知	随時	-	横山	○
		OA機器電力の削減	・各OA機器の節電モードの徹底 ・夜間、休日の主電源OFFの徹底	随時	-	横山	○
		コンプレッサー負荷の低減	・定期的なエアリー漏れ、フィルターの点検 ・コンプレッサー上限圧の変更	1/2M 8月末	点検表 -	横山	○ ×
		乾燥炉放熱ロスの低減	・小川乾燥炉使用時間厳守の徹底 ・小川乾燥炉断熱材設置	随時 9月末	- -	横山	○
	ガソリン使用量の削減	エコドライブの推進 輸送効率見直し	・アイドリングストップの周知 ・輸送効率見直し	随時	-	横山	○
	軽油使用量の削減	リフト使用時間の適正化	・リフトの定期点検 ・置場の順守	年1回 随時	報告書 -	横山	○
	ガス使用量の削減	適正温度化	・作業終了後すぐに停止の周知 ・蒸気配管の定期的点検・補修	随時 1/2M	- 点検表	横山	○
廃棄物排出量の削減	産業廃棄物の削減	水分除去の徹底	・汚泥排出量の削減→しっかりと脱水	随時	-	横山	○
	一般廃棄物の削減	分別の徹底、リサイクル	・ゴミ分別の周知	随時	-	横山	○
		廃棄物の削減	・簡易包装、まとめ買いの徹底	随時	-	横山	○
化学物質使用の適正管理		塗料使用量の削減	・工程内不良を低減し、使用量の削減 ・清掃時の洗浄用シンナーの使用	随時	加工 計画表	横山	○
グリーン商品購入推進	グリーン商品 購入拡大	エコ商品購入の推進	・新規購入品の確認 ・エコ商品への購入切替	随時	-	横山	○
排水量の削減	水道使用量の削減	節水の徹底	・朝礼での「節水」の呼びかけ(意識向上) ・水漏れの点検	随時 1/2M	-	横山	○
5S活動の推進		5Sの意識向上、徹底	・意識向上のため、「5Sとは？」教育 ・空き時間のこまめな清掃の実施 ・見えにくい所の不要配管・配線の撤去	随時	-	横山	○

8、2024年度環境経営計画の取組結果とその評価、今後の取組内容

2021年度(2021年6月～2022年5月)を目標基準年にし、目標値を設定してあります。

●CO2排出量の削減

昨年度2023年度比から、CO2排出量項目総体比としては、目標-3%に対し、+0.7%と未達。個別では、電気:+5.9%、灯油:-47.9%、ガソリン:+43.3%、軽油:-12.9%、ガス:+6.9%の結果となっています。

ガソリン使用量は、一部社内便にて運行している対象製品、少量号口品納入の頻度が増し、納入先の距離が遠方である事から増大結果となった。

軽油については、フォークリフトの更新もあり、軽油使用量減少となった。

ガス使用量は、バックデータでの工場別比較をすると、2021年度(2021年6月～2022年5月)比、本社工場:-15.6%とに減少しているのに対し、小垣江工場:+19.2%と増大しており、原因としては、小垣江工場の売上が増加している事である。

今後、特に著しく目標未達したガソリン使用量低減具体案を検証する必要がある。

●廃棄物排出量の削減

目標値に対し、産業廃棄物:+21.4%、一般廃棄物:+34.9%となりました。

産業廃棄物に関しては、数年に1回実施している、廃棄塗料循環地下タンクの塗料を廃棄した事により、廃棄量が増となっている。一般廃棄物に関しては、表面処理ライン移管生産に伴う防錆紙廃棄が増。今後は、塗装ライン修正率低減と防錆紙リサイクルによる目標値達成を狙

●塗料使用量の削減

基準年度比は低減しているが、昨年度比に対しては、+1.3%と目標未達

2024年度は、前年度塗料使用量削減目標未達を振り返り、手直し率低減に向けた、塗料粘土の見直し、補正作業のバラツキ低減を現場でこれまで以上にコミュニケーションを図り推進してきた

売上比率でみると2021年度(2021年6月～2023年5月):20948/kgに対し、2024年度(2024年6月～2025年5月):20048/kgと-4.3%を実現。しかしながら、目標未達である結果から、更なる手直し率低減活動を継続推進していく。

●グリーン商品購入推進

グリーン商品不適合品の方が安価な製品が多いですが、継続して切り替える努力をしています。

●排水量の削減

目標値に対し、+15.6%と目標達成に至りませんでした。要因としては、会社全体の生産量(売上高)増に伴い、製品処理時に不可欠な補水(稼働)時間が長くなった事から使用量が多くなっている。減水にて品質良件に影響が出ない改善策がないか、専門業者とタイアップしながら改善を推進する必要がある

●5S活動の推進

防災活動にもなるため、不要配管・配線の撤去、改修を徐々に行ってきました。また、ダクトやモーターのホコリ清掃、フィルター設置なども併せて実施してきたので、引き続き推進していきます。

☆今後の取組内容

- ・電気使用量の削減で、コンプレッサー上限圧の変更
- ・電気・ガス使用量の削減で、断熱材の補修等
- ・産業廃棄物の削減で、汚泥の脱水の徹底
- ・塗料使用量の削減で、清掃頻度の遵守・不良率の低減
- ・水使用量の削減で、水漏れの定期的点検・節水と、専門業者との協業活動
- ・5S活動の推進で、エネルギー低減につながる活動

9、主な環境関連法規制遵守状況と評価・違反・訴訟等の有無

関係する法律		適用される要求事項	遵守状況
大気	・フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定フロン対象物の把握 ・ 上記対象物の3ヶ月に1回の簡易点検の実施 ・ 廃棄時、第1種フロン回収業者への引き渡し ・ 引き渡し時、引取証明書の受領 ・ 上記証明書の3年間保管 	○
水質	・浄化槽法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 浄化槽設備の設置、変更の届出 ・ 4ヶ月に1回の保守点検の実施 ・ 年1回の水質検査及び清掃の実施 ・ 記録の3年間保持 	○
	・水質汚濁防止法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定施設の設置、変更の届出 ・ 3ヶ月に1回の水質検査の実施 ・ 事故発生時の届出 	○
騒音・振動	・騒音・振動規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 規制基準の順守 ・ 特定施設の設置、変更の届出 	○
廃棄物	・廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・ マニフェストの適正管理及び5年間保持 ・ 産業廃棄物管理票の報告 ・ 委託基準の遵守 ・ 委託業者の現地確認の実施 	○
消防	・消防法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防用設備の設置、変更の届出 ・ 乾燥設備、ボイラー等の設置、変更の届出 ・ 保管方法、設備の遵守 ・ 消火設備の定期点検の実施 ・ 危険物貯蔵の届出 	○
リサイクル	・家電リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄時、導入メーカーへの引き渡し ・ 廃棄時、引取り証明書の受領 	○
	・自動車リサイクル法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄時、導入メーカーへの引き渡し ・ 廃棄時、引取り証明書の受領 	○
特定化学物質	・PRTR法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定化学物質取扱量届出書の提出 ・ 第1種特定化学物質の排出量及び移動量の提出 	○
毒劇物	・毒劇物取締法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 盗難・紛失措置の遵守 ・ 容器等の識別遵守 ・ 盗難・紛失・飛散時の届出 	○
公害防止	組織整備法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公害防止管理者の取得→引続き随時受験 ・ 公害防止統括者の選任 	△
その他	・知立市公害防止協定	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公害防止指導基準の順守 ・ 年2回の公害防止協定に基づく測定結果報告書の提出 	○
	・アイシンググリーン調達ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部機関による認証の取得義務、または自己点検の実施 	○
	・得意先環境負荷物質規制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 使用塗料等のエビデンスの保持 ・ 調査依頼時の確実な対応 	○

1、違反について

公害防止管理者取得が出来ていない為、引続き取得試験を受験する。
尚、過去3年間関係当局より違反等の指摘、訴訟事項はありません。

2、訴訟について

外部からの訴訟事項等はありません。

10、代表者による全体評価と見直し

作成日：2025年6月3日

対象期間2024年度(2024.6～2025.5)のエコアクション21の活動について、代表者による、全体評価と見直しを実施しました。

見直しに必要なコメント

環境経営目標の達成状況	目標未達項目が多々ありますが、生産量増加に起因する事から未達となっている項目が多いため、目標値の見直しを検証する必要がある。 売上比率を大幅に増大することが出来た事により、改善の積み重ねが効果結果に繋がるよう、活動内容の精査と、推進を強化する必要がある
環境経営計画の実施・運用結果	活動計画はおおむね実施されています。コンプレッサー上限圧変更は実施し、引き続き効果の確認と調整を推進中。目標は一部未達成となっていますが、売上比率が増大しているため、各内容を精査しながら改善推進が課題と認識しております。 2025年度も引き続き鋭意努力していきます。
環境関連法規等の遵守状況	違反等特にありません。
外部からの環境関連の訴訟等	公害防止管理者資格取得 継続受験

代表者による見直しの有無、及び指示事項

項目	見直しの有無	指示事項
環境経営方針の見直し	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	方針の見直しは特に無し
環境経営目標の見直し	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	特に変更なし
環境経営計画の見直し	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	大きな計画の見直しは特に無し
環境活動の運用の見直し	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	運用の見直しは特に無し
その他見直しの必要な項目等	<input type="checkbox"/> 有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無	特に無し
〈コメント〉 細かな節水・節電でも長期間継続することにより、大きな成果を生んでいきます。生産量が引き続き増産となっていく予定ではありますが、今まで通り努力すると共に、少しでもプラスアルファになる改善を、従業員一同意見を出し合いより良くしていきたい。		

11、2025年度 環境経営計画

環境経営方針項目	環境経営目標	取組項目	具体的な手段	計画	文書・記録	責任者
CO2排出量の削減	電気使用量の削減	冷房の適温化	・定期的にフィルターの清掃 ・空調不使用時OFFの徹底	7・9月	点検表	加藤
		照明電力の削減	・不要蛍光灯のOFF ・作業終了後すぐに電源停止の周知	随時	－	加藤
		OA機器電力の削減	・各OA機器の節電モードの徹底 ・夜間、休日の主電源OFFの徹底	随時	－	加藤
		コンプレッサー負荷の低減	・定期的なエアリー漏れ、フィルターの点検 ・コンプレッサー上限圧の変更	1/2M 9月末	点検表 －	加藤
		乾燥炉放熱ロスの低減	・小川乾燥炉使用時間厳守の徹底 ・速やかな扉開閉の呼びかけ・徹底	随時	－	加藤
	ガソリン使用量の削減	エコドライブの推進	・アイドリングストップの周知 ・急発進・急加速の禁止	随時	－	加藤
	軽油使用量の削減	リフト使用時間の適正化	・リフトの定期点検 ・置場の順守	年1回 随時	報告書 －	加藤
	ガス使用量の削減	適正温度化	・作業終了後すぐに停止の周知 ・蒸気配管の定期的点検・補修	随時 1/2M	－ 点検表	加藤
廃棄物排出量の削減	産業廃棄物の削減	水分除去の徹底	・汚泥排出量の削減→しっかりと脱水	随時	－	加藤
	一般廃棄物の削減	分別の徹底、リサイクル	・ゴミ分別の周知 ・裏紙の使用、両面印刷の推進	随時	－	加藤
		廃棄物の削減	・簡易包装、まとめ買いの徹底	随時	－	加藤
化学物質使用の適正管理		塗料使用量の削減	・工程内不良を低減し、使用量の削減 ・清掃時の洗浄用シンナーの使用	随時	加工 計画表	加藤
グリーン商品購入推進	グリーン商品 購入拡大	エコ商品購入の推進	・新規購入品の確認 ・エコ商品への購入切替	随時	－	加藤
排水量の削減	水道使用量の削減	節水の徹底	・朝礼での「節水」の呼びかけ(意識向上) ・水漏れの点検	随時 1/2M	－	加藤
5S活動の推進		5Sの意識向上、徹底	・意識向上のため、「5Sとは？」教育 ・見えにくいところの不要配管・配線撤去および 周辺の清掃	随時	－	加藤